



# 駒林小 学校便り

令和5年度  
1月号

得をして徳を積む 駒林の子どもたち

校長 西尾 武泰

2024年、新しい年が明けました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、新たな希望を胸に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は本校の教育活動にご理解・ご支援をいただき本当にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いたします。

駒林小学校は「あいさつ」「たてわり」「音楽（歌声）」の3本柱があります。あいさつについては駒林小学校の子どもたちはとても上手です。私が登校時に南門で見守りをしていると、子どもたちの方から「おはようございます。」という気持ちの良いあいさつをしてくれます。

「気持ちの良いあいさつありがとう。」「こちら元気が出ますよ。」「今日も頑張ろうね。」などなど、子どもたちのからのあいさつを受けて、私が自然と返してきた返事です。そして一緒に登校を見守ってくださっている保護者の方々もきちんとあいさつをしてくれます。本当に素晴らしい方々です。

「あいさつをすると得をすることがたくさんある。しかし、その反対はない。あいさつをしないと損することはあっても得することはない。」と言われていますが、本当にその通りで、あいさつをする子どもたちの家庭はしっかりと子どもの躰ができてることが想像できますし、とても好印象を受けます。まさしく子どもたちはあいさつで得をしているのだと思います。子どもたちの中には、私とどちらが先にあいさつをするかを競う子も数名います。私が、その子が来ないか遠くの方を見ていると、なんと西量寺の方から私に手を振っている子もいて、思わず吹き出しそうになるとともに、そのような微笑ましい姿に心が温かくなります。

「行動は繰り返すことにより習慣となりやがて人格となる。」という言葉がありますが、あいさつという行動が自然と習慣となっている子どもたちは日々得をしながら徳を積み、やがて立派な人格になっていくのだと思っています。

このような素晴らしい駒林の子どもたち。この子どもたちがさらに幸せな時間を過ごせるように今年も教職員一同気を引き締めて学校運営をしていきますので皆様のご支援とご協力をお願いします。

